

相模原稲門会の皆様へ ご挨拶

相模原稲門会の皆様、こんにちは。

早稲田大学第17代総長ならびに校友会会長の田中愛治でございます。

相模原稲門会の皆様におかれましては、ご健勝にて、各分野でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃から、天野会長を中心に会員の皆様が一丸となって多彩な校友会活動を展開され、早稲田大学および早稲田大学校友会の発展にご尽力いただいておりますこと、誠に有難く、早稲田大学および校友会を代表して心からの敬意と感謝の意を表します。

さて、私、田中愛治が総長に就任してから、早いもので3年以上が経過しました。私は「世界で輝くWASEDA」の実現を目指して、総長としてこの期間、様々な改革推進に取り組んでまいりました。この2年間は新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けましたが、昨年からはキャンパスでの対面授業を可能な限り広げた教育を展開し続けることにより、感染対策を徹底しながら、早大生らしいキャンパスライフを送ってもらえるよう懸命に努めております。

そして、校友の皆様におかれましては、コロナ禍で経済困窮する現役学生に対する沢山の温かいご寄付を賜り心から感謝申し上げます。お蔭様で、コロナ禍で苦しむ多くの学生を救済することができました。早稲田の後輩学生を想う皆様の優しいお気持ちに感激で胸一杯です。本当にありがとうございます。今年度からは“学生が輝く早稲田の未来へ！”を合言葉に「早稲田大学応援基金」という新たな学生支援メニューを構築しました。相模原稲門会の皆様におかれましても、引き続きの温かいご支援をどうか宜しくお願い申し上げます。

また、新しいニュースといたしまして、本学では昨年2021年10月に「国際文学館」（通称「村上春樹ライブラリー」）を開館いたしました。新国立競技場の設計にも携わった隈研吾氏の手により4号館に改築が施され誕生した同施設では、「村上春樹文学」だけでなく、「国際文学」「翻訳文学」の研究に取り組むことができる環境を整え、世界中から人々が集まり、グローバルな情報発信を促す、これまでと異なるライブラリー運営を目指して活動を行っています。館内には現役学生が運営するカフェも併設されております。早稲田にお越しの際には是非お立ち寄りいただけましたら幸いです。

最後になりますが、相模原稲門会の皆様におかれましても、長引くコロナ禍による影響がお仕事や生活面にも大きく及んでいることと思っておりますが、逆境に強いのが早稲田人であると確信しております。相模原稲門会の皆様方のご健勝と益々のご発展をお祈り申し上げて、私からのご挨拶とさせていただきます。

2022年5月吉日

早稲田大学総長
早稲田大学校友会会長

田中愛治